

相馬福島道路（りょうぜん 霊山道路）
「こしめぐり 腰巡トンネル（仮称）安全祈願祭」のお知らせ
～りょうぜん 霊山道路の最後のトンネルに工事着手～

この度、平成29年度の開通に向けて工事を進めている相馬福島道路（りょうぜん 霊山道路）で最後のトンネル工事（全7トンネル）となる「こしめぐり 腰巡トンネル工事（L=889m）」に着手することになりました。

つきましては、被災地の一日も早い復興と工事の安全を祈念して、安全祈願祭を執り行うことになりましたので、お知らせします。

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路（無料）であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト（復興支援道路）として位置づけられています。

また、相馬福島道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。

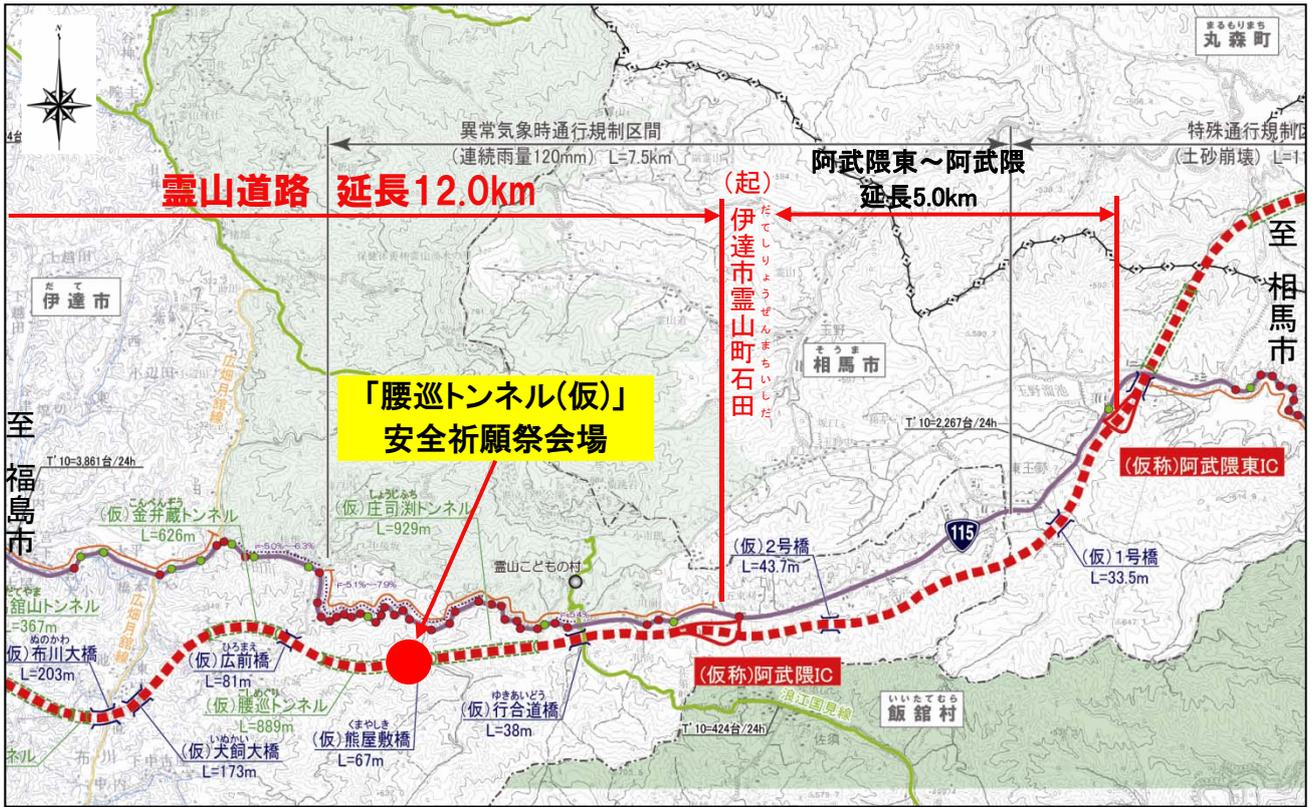
記

- 日時：平成26年10月8日（水曜日）10:00～11:00
- 場所：福島県伊達市霊山町石田 地内
（腰巡トンネル 相馬側坑口）・・・別紙1のとおり
- 主催：佐藤工業株式会社 東北支店
- 式典内容：別紙2のとおり
- 腰巡トンネルの概要
所在地：福島県伊達市霊山町石田 地内
延長：889m
幅員：12.0m(1.75+3.5+1.5+3.5+1.75)
車線数：2車線
工事期間：平成26年2月19日～平成27年11月27日
掘削工法：補助ベンチ付全断面工法
施工者：佐藤工業株式会社 東北支店

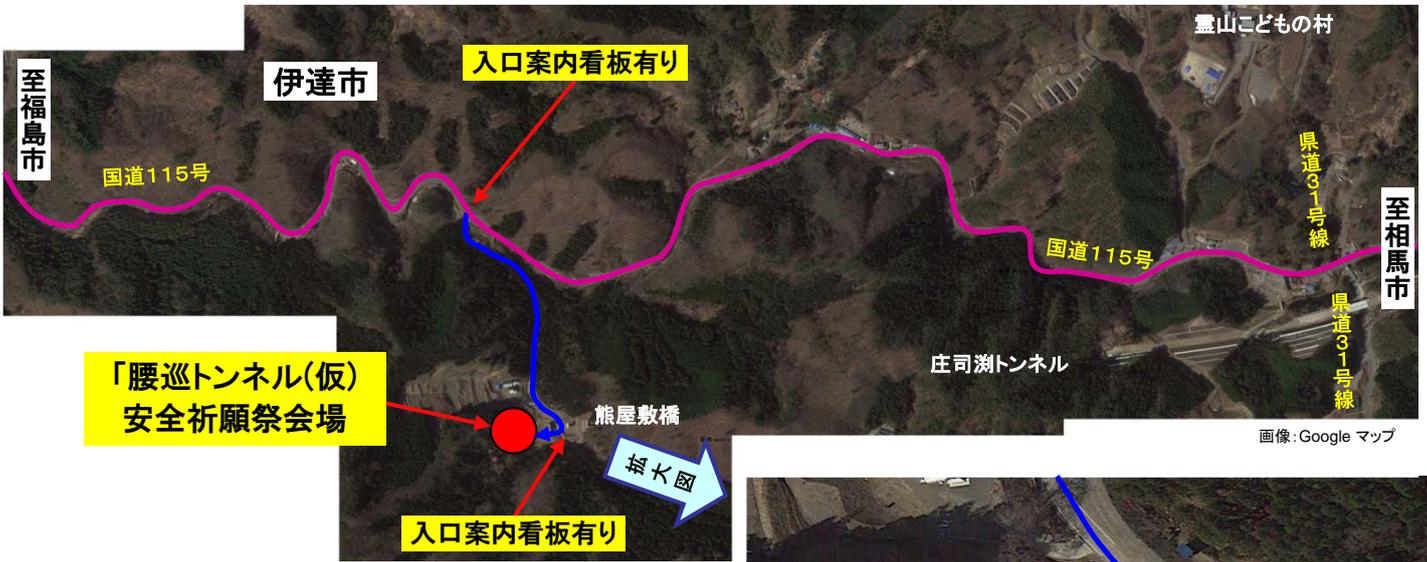
【発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ】

問 い 合 わ せ 先	
 《事業に関すること》 国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所 電話024-546-4331(代) 副所長 赤坂 浩 (内線205) 工務第二課長 宍戸 英雄 (内線411)	《安全祈願祭に関すること》 佐藤工業株式会社 東北支店 国道115号腰巡トンネル作業所 電話024-572-5126 所長 星野 文夫

【会場案内図】



【詳細案内】



画像: Google マップ



画像: Google マップ

- 自動車での会場までの距離と所要時間
- 国道4号・国道115号交差点(岩谷下)より: 約22km 30分
 - 国道115号・国道349号交差点より: 約9km 12分
 - 国道115号・県道31号線交差点より: 約2km 5分

腰巡トンネル（仮称）安全祈願祭

次 第

- 一、開 式
- 一、修 祓（しゅばつ）
- 一、降 神（こうしん）
- 一、献 饌（けんせん）
- 一、祝 詞 奏 上（のりとそうじょう）
- 一、切 麻 散 米（きりぬささんまい）
- 一、玉 串 奉 奠（たまぐしほうてん）
- 一、撤 饌（てっせん）
- 一、昇 神（しょうしん）
- 一、御神酒拝戴（ごしんしゅはいたい）
- 一、閉 式
- 一、施 主 挨 拶
- 一、来 賓 挨 拶
- 一、施 工 者 謝 辞

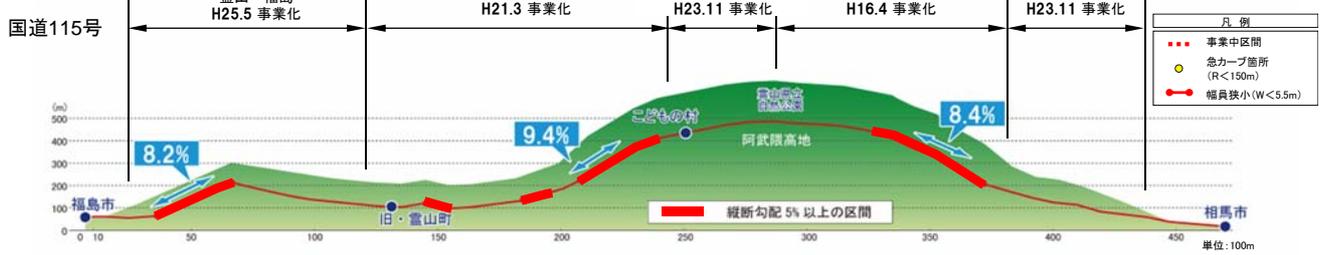
相馬福島道路 全体概要

【平面図】

相馬福島道路 L=約45km



【縦断面図】



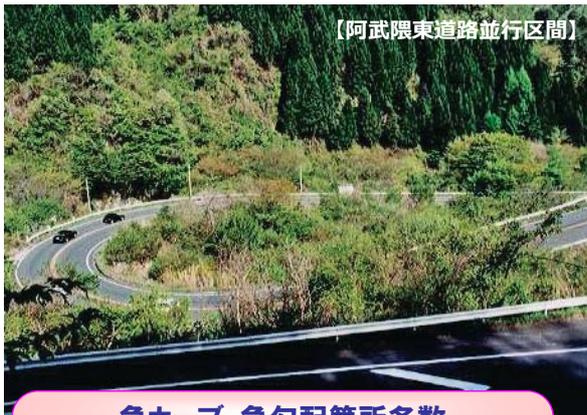
国道115号相馬～福島間の現状課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障

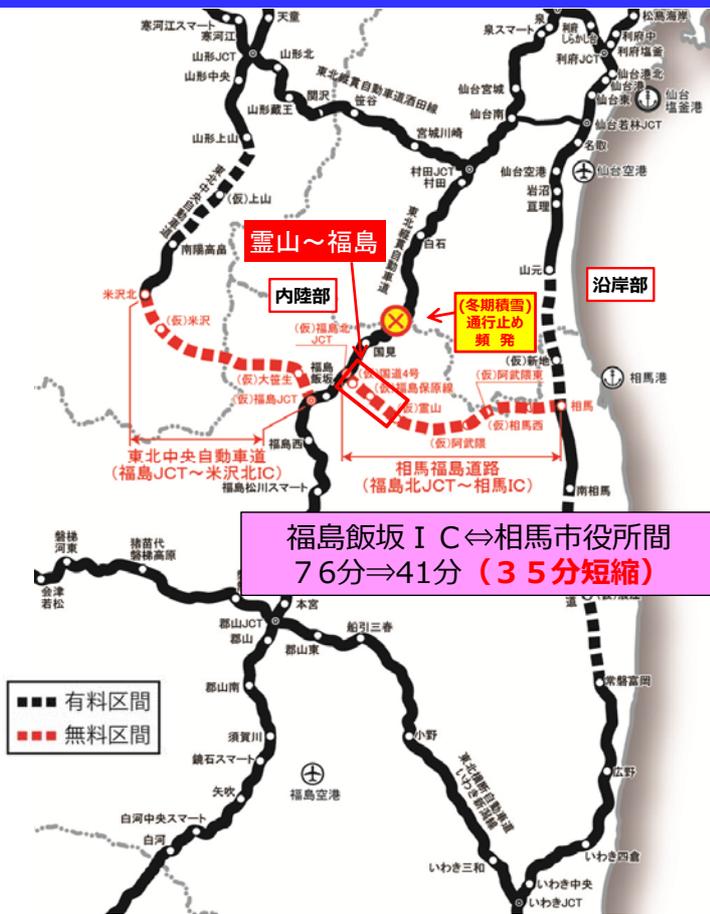


急カーブ・急勾配箇所多数



沿線住民の安全な生活に支障

相馬福島道路の整備効果(高速道路ネットワークの形成)



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題



・相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している ⇒ 大幅な迂回損失が発生

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度
時間価値原単位はH20年価格

相馬福島道路の整備効果(災害時の代替性)

悪天候時や災害時においても寸断されない信頼性の高い道路ネットワークを形成

▼ 相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



▼ 落石等により寸断された国道115号
(相馬市山上地区(H18年6月)全止め30日間)



▼ 豪雪により寸断された国道
(伊達市霊山町石田地内(H26年2月)全止め3日間)



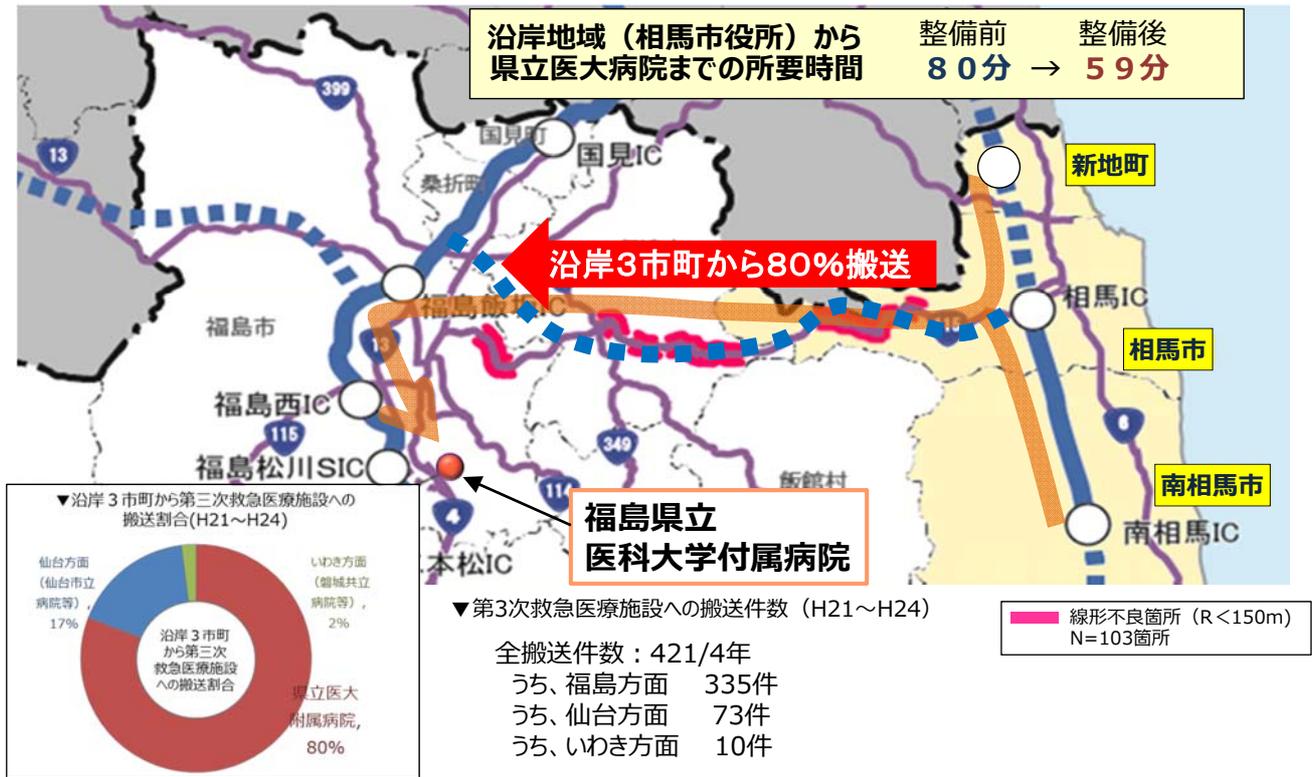
- 緊急輸送道路 (第一次確保路線)
- ▲ 防災上の対策が必要な箇所 (26箇所)
- ✕ 通行止リスク箇所 (通行規制区間)
- 津波浸水被害エリア

国道115号は、災害等による通行止めが頻発 (通行止14回/15年) ※

※H11～H25

整備効果(医療)

隘路(急カーブ・急勾配・幅員狭小区間)を回避できる
安心・安全な道路ネットワークを形成



整備効果(物流)

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/t
のコスト削減

輸送方法の
切り替えイメージ

